

令和6年3月12日

施設課作成

第30回はだのクリーンセンター環境運営委員会概要

1 報告内容について

はだのクリーンセンターにおける各種実績データについて

令和5年度1月までの可燃ごみの搬入量、焼却量、焼却灰搬出量、各種測定結果（排ガス、放射能濃度、周辺環境）を資料1のとおり報告するものです。各種測定結果については、異常な数値がなく全て基準値を下回る良好な数値となりました。今後も安全・安心な施設運営に努めてまいります。

2 その他

(1) 可燃ごみ焼却処理1施設化について

可燃ごみの現況ですが、市民の皆様のご協力により昨年度同時期（1月末）比で約1,500トンの減量となっています。順調に減量が進んだことで可燃ごみ焼却処理の1施設化を実現することができ、本年3月より伊勢原清掃工場90トン焼却施設が稼働を停止し、はだのクリーンセンター1施設で焼却処理を行っています。

今後も安全・安心な施設運営が継続出来るように努めていきます。

(2) 緊急的なトラブル等により稼働停止した場合の可燃ごみ処理について

はだのクリーンセンターが緊急的に稼働停止し、処理しきれないごみがごみピット内に残った場合に備え、可燃ごみを搬出できるよう5市3町1一部事務組合（※1）で一般廃棄物処の処理に係る相互援助協定を結んでいます。

また県内で処理できない場合に備え、令和6年度からは圏外民間処理施設（※2）に可燃ごみを運搬処理することが可能となり、試験搬出を実施します。

※1 神奈川県湘南地域県政総合センター管内5市3町1事務組合間における一般廃棄物等の処理に係る相互援助協定書

（協定者：平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町、秦野市伊勢原市環境衛生組合）

※2 圏外民間処理施設

オリックス資源循環株式会社 寄居工場（埼玉県寄居町）

(3) クリセンわくわく探検ツアーの開催報告について

令和6年1月28日(日)に実施した同探検ツアーは、「ごみ処理博士」に扮した職員がユーモアあふれる語り口で参加者へ施設を紹介し、ごみピット内のごみをクレーンでつかみ、その重量を予想する賞品付きのクイズを出題するなど、「楽しみながら学ぶ」をコンセプトとして施設を案内しました。

午前と午後と合わせて106名の方に参加いただき盛況のうちに終わることができました。

(4) 環境運営委員の任期満了について

環境運営委員会の委員任期(2年間)が令和5年度までとなります。次年度からの委員については、両自治会から候補者の推薦をいただくこととなります。